

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2025
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.128, (2025. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01280001--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

1	明治十年代送仮名法改革一斑——内田嘉一「送仮名写法」・箕輪醇「送仮字弁」の対比から	岡田一祐
18	大久保狭南の生涯——小金井桜樹碑の建立の背景——	浅井万優
67	彙報	
87	経験構築としての隠喩	佐藤太郎
103	アニー・エルノー『少女の記憶』における「わたし」	森千夏
122	18世紀におけるメロドラマの予期せぬ萌芽——『レナルドとブランディーネ』を例に	柴田晴大
137	中世ドイツの書簡にみる女性神秘家への司牧と「役割転換」の一事例——ハインリヒ・フォン・ネルトリンゲンとマルガレータ・エープナー——	片山由有子
151	センセーション、犬、両義性——『オーロラ・フロイド』における異種間関係をめぐる逆説的位相	越智友里絵
160	「女は知っている」——エレン・グラスゴー“The Past”におけるエンパワメント	佐藤優果